

きつねどん

どうのしほ

洞野志保再話・絵

しゅっぱん

ビリケン出版

あるところにずるがしいきつねどんがいました。

あるひのこと、ぶたのあぶりにくがたべたくてたまらなくなつたきつねどんは、まずいたびのもののふりをして、しんせつなあかぎつねのいえにとめてもらいます。つぎのあさ、もっていたにわとりがとられたとうそをついて、まんまといちばんふとつたにわとりをもらったきつねどん。ほかのいえでもおなじことをくりかえして、とうとうくまのいえにたどりつきました。

ハンガリーの民話です。

